

2024

第2回進路説明会資料

目 次

- | | | |
|---|-------------|-------|
| 1 | 都立高校の入試について | ・・・1 |
| 2 | 私立高校の入試について | ・・・8 |
| 3 | 今後の流れ | ・・・13 |

第3学年

北区立明桜中学校

2024/10

1 都立高校の入学者選抜(入試)について

1 推薦に基づく選抜

(1) 推薦の種類 (定員の8%~40%)

- 一般推薦 ○文化・スポーツ等特別推薦 (以下「特別推薦」という。)
- 理数等特別推薦 (以下「特別推薦(理数)」という。)

(2) 日程

	日	時
出 願	インターネットを活用した出願 (入力期間) 令和6年12月20日(金)~令和7年1月16日(木) 午後5時まで (書類提出期間) 令和7年1月9日(木) ~ 1月16日(木) 必着	
検 査	1月26日(日)、27日(月)	
合格者の発表	1月31日(金)	午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示)
合格者の 入学手続	1月31日(金) 2月 3日(月)	午前9時30分 ~ 午後3時30分 午前9時 ~ 正午

(3) 応募資格

都内に住所を有し、志願する都立高校を**第一志望**とする生徒

※都外への転居の予定がある場合は、学級担任に相談しましょう。

下記の①~⑤の条件を全て満たした生徒を教職員が推薦し、学校長が認めた生徒に対して、本人・保護者が制度の利用に合意した場合に受けることができます。

なお、生徒・保護者連名で「推薦依頼書」を提出します。

<明桜中の推薦基準>

- ① 志望校の教育理念や求められている生徒像を理解して、強い進学の意味をもっていること。
- ② 意欲をもって授業に参加し、学力の向上、心身の健康の向上に積極的に取り組んでいること。
- ③ 基本的な生活習慣やマナーを身に付け、「きまり」「約束」を守り学校生活を送り、他の生徒の模範となる行動ができていること。
- ④ 学級活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動など諸活動に、熱心に、かつ継続的に取り組んでいること。
- ⑤ 進路先においても上記①~④に当てはまる行動をとり、努力を続けられる者。

(4) 出願方法

① 一般推薦

- ・ 志願者は、1校1コース又は1科（1分野）に限り出願する。志願変更はできない。
- ・ 志願する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合（芸術に関する学科を除く）は、第2志望として他の1科（1分野）に限り指定することができる。ただし、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできない。

② 特別推薦

- ・ 志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科（1分野）に限り出願する。志願変更はできない。
- ・ 当該校の一般推薦にも出願することができる。

③ 特別推薦（理数）

- ・ 志願者は、1校1科に限り出願する。志願変更はできない。
- ・ 他の推薦に基づく選抜に出願することはできない。

(5) 出願手続

- ・ 入学願書（紙）は提出せず、志願者がインターネットの出願サイトで志願者情報を入力する。
- ・ 受検票は、出願サイト上で交付されるので、生徒（保護者）がプリンターやコンビニなどで印刷する必要がある。

<必要書類>

① 一般推薦

ア：一般推薦書 イ：入学願書 ウ：調査書 エ：自己PRカード オ：入学考査料

※ア、ウは中学校が作成する。※イは、インターネット出願では、出願サイトに入力する。

② 特別推薦

ア：文化・スポーツ等特別推薦書 イ：入学願書 ウ：調査書 エ：自己PRカード

オ：入学考査料

※ア、ウは中学校が作成する。※イは、インターネット出願では、出願サイトに入力する。

※ウ、エは一般推薦を同時に志願する者は、1部のみ提出でよい。

③ 特別推薦（理数）

ア：理数等特別推薦書 イ：入学願書 ウ：調査書 エ：自己PRカード

オ：科学分野等の研究に関するレポート（A4判2枚以内、様式任意） カ：入学考査料

※ア、ウは中学校が作成する。※イは、インターネット出願では、出願サイトに入力する。

(6) 検査内容

① 一般推薦及び特別推薦

- ・志願者全員に個人面接を実施する。集団討論については、必要と判断した学校において実施する。
- また、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査（以下「小論文又は作文等の検査」という）のうちから、いずれか1つ以上の検査を実施する。

例：文京高校…調査書（300点）、個人面接（150点）、小論文（150点）

※集団討論実施校……日比谷、西、竹早、北園、深沢、鷺宮、篠崎等

※第1志望及び第2志望とする科（分野）で実施する小論文又は作文等の検査の課題が異なる場合は、それぞれの課題を課す。

① 特別推薦

- ・志願者全員に個人面接又は集団面接及び実技検査を実施する。
 - ・その他の検査の内容については、当該都立高校長が定める。
- ※一般推薦を同時に志願する者については、一般推薦において実施する個人面接及び小論文又は作文等の検査についても課す。

② 特別推薦（理数）

- ・科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の検査を実施する。

調査書点	個人面接点	小論文または 作文点	実技検査点	（集団討論点）	その他学校が設定 する検査の点数
総合成績					

(7) 合格者の発表

- ・合否照会サイト上での個別の合格発表と、校内掲示を行う。

(8) 入学手続

- ・合格者は、入学手続期間内に「入学確約書（推薦）」を提出し、所定の納付書により、入学料（全日制5,650円）の納付を行う。
- ・入学手続期間内に「入学確約書」を提出しない者は、合格を放棄したものとみなされるので注意する。
- ・入学料の納付期限は、合格発表日の翌日から起算して5日以内（ただし、5日目が土・日・祝日にあたる場合は、金融機関等の翌営業日）。なお、入学料の納付がない場合、「入学確約書」は無効となってしまうので注意する。
- ・入学に必要なその他の書類は、「入学確約書」を提出したときに各都立学校より交付される。

2 学力検査に基づく選抜（一般）《第一次募集・分割前期募集》

(1) 日程

事 項		日 時	
出 願		インターネットを活用した出願 (入力期間) 令和6年12月20日(金)～令和7年2月5日(水)午後5時まで (書類提出期間) 令和7年1月30日(木)～2月5日(水)まで(必着)	
志願	願書取下げ	2月12日(水)	午前9時～午後3時
変更	願書再提出	2月13日(木)	午前9時～正午
学力検査及び面談		2月21日(金)	集合 午前8時30分
面接及び実技検査等		2月21日(金)以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表		3月3日(月)	(全日制) 午前8時30分(合否照会サイト上) 午前9時30分(校内掲示) (定時制) 午前8時30分(合否照会サイト上) 午後4時(校内掲示)
合格者の 入学手続		3月3日(月)	(全日制) 午前9時30分～午後3時30分 (定時制) 午後4時～午後8時
		3月4日(火)	(全日制) 午前9時～正午 (定時制) 午後4時～午後8時

(2) 応募資格

※都立高校や都立高専などの推薦による合格者は、合格以後の都立高校などへの応募や受検はできない。

<全日制及び定時制への応募資格>

- 令和7年3月に中学校を卒業する見込みの者、又は卒業した者

<全日制への応募資格>

- 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者
(保護者と同居していない者は、具申書の提出が必要)

<定時制への応募資格>

- 都内に住所を有し、入学後も引き続き都内に住所を有することが確実な者
又は入学日までに都内に住所を有することが確実で入学後も引き続き都内に住所を有することが確実な者

※上記に該当しない場合はその他の規定に従うことになるので、担任または学年教員に確認してください。

(3) 出願方法

- 志願者は、1校1コース又は1科(1分野)に限り出願する。
- 志願する同一の都立高校内にある同一の学科内に、2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く)は、他の全ての科(分野)に志望の順位をつけて出願することができる。ただし、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできない。

(4) 出願手続

- ・入学願書（紙）は提出せず、志願者がインターネットの出願サイトで志願者情報を入力する。
- ・受験票は、出願サイト上で交付されるので、生徒（保護者）がプリンターやコンビニなどで印刷する必要がある。

<必要書類>

ア：入学願書 イ：調査書 ウ：入学考査料（2,200 円）

エ：中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）スコアレポート

※イは中学校が作成する。※アは、インターネット出願では、出願サイトに入力する。

※自己 PR カードは原則、合格後に提出する。ただ、面接実施校では自己 PR カードを提出する。

(5) 志願の変更

①志願変更

- ・入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース及び科（分野）に再提出することはできない。同一の都立高校内にある同一学科内の科（分野）相互間の志望順位の変更もできない。
- ・入学考査料が高い方から低い方へは志願変更できない。（全日制からチャレンジスクールへの変更等）

②志願変更の手続

- 1：志願者は、「志願変更願」を都立高校長へ提出する。
- 2：都立高校は、調査書等の出願書類を返却し、出願サイト上の出願情報を取り下げ処理する。
- 3：志願者は再提出先の都立高校の出願サイトへ出願情報を登録するとともに、出願書類を志願変更先の高校の窓口へ提出する。
- 4：都立高校は、出願情報・書類の審査を行い、出願サイト上で受験票を交付する。

(6) 学力検査等の実施

- ・全日制は、国語、数学、外国語(英語)、社会、理科の5教科とする。ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語、数学、外国語(英語)の3教科とする。なお、チャレンジスクール、エンカレッジスクールにおいては、学力検査を実施しない。個人面接及び小論文または作文を実施する。
- ・定時制は、国語、数学、外国語(英語)、社会、理科の5教科のうち、3教科を下らない範囲で各都立高校が定める。また、面接を実施する。
- ・その他の検査の実施内容は、各都立高校が定める。
- ・各教科の満点は100点とする。特定の教科の配点に比重をかける（以下「傾斜配点」という）都立高校もある。
- ・検査教科等のうち、1教科（面接、実技検査等を含む）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなされる。ただし、正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなされることもある。
- ・面接、実技検査等を行う科（分野）を第2志望以下の志望順位とした者については、当該の科（分野）において実施する面接、実技検査等を課す。

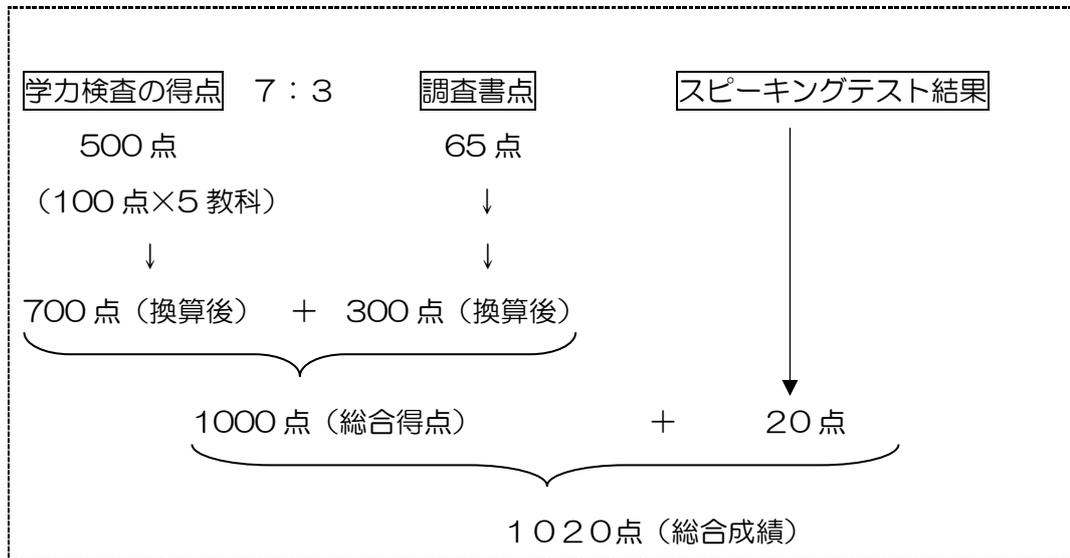
- 次の10校については、自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）と、都立高校共通問題2教科（社会、理科）により実施する。

日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、墨田川、国分寺

- 国際高校については、自校で作成した学力検査問題(英語)と、共通問題4教科で行う。

(7)選考

- 選考は、調査書点、学力検査の得点、スピーキングテスト結果の点数を総合した成績（以下「総合成績」という）、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。
- 学力検査の得点と調査書点の比率については、次のとおりとする。
 - ア 全日制は、7：3とする。
 - イ 定時制は、7：3又は、6：4とする。
- 調査書を点数化する際は、学力検査を実施する教科の評定数値を1倍、学力検査を実施しない教科の評定数値を2倍して調査書点を算出する。



- 東京都中学校英語スピーキングテストの結果は満点を20点とし、AからFまでの6段階で提出された評価を、以下の表のとおり点数化する。

A	B	C	D	E	F
20点	16点	12点	8点	4点	0点

(8)合格者の発表

- 合否照会サイト上での個別の合格発表と、校内掲示を行う。

(9)入学手続（入学確約書の提出）

- 合格者は、入学手続期間内に「入学確約書」を提出し、所定の納付書により、入学料（全日制5,650円、定時制2,100円）の納付を行う。
- 入学手続期間内に「入学確約書」を提出しない者は、合格を放棄したものとみなされるので注意する。
- 入学料の納付期限は、合格発表日の翌日から起算して5日以内（ただし、5日目が土・日・祝日にあたる場合は、金融機関等の翌営業日）。なお、入学料の納付がない場合、「入学確約書」は無効となる。

- ・入学に必要なその他の書類は、「入学確約書」を提出したときに各都立学校より交付される。

3 学力検査に基づく選抜（一般）《分割後期募集・第二次募集》

(1) 日程（全日制）

事 項		日 時	
出 願		令和7年3月 6日（木）	午前9時 ～ 午後3時
志願	願書取下げ	令和7年3月 7日（金）	午前9時 ～ 午後3時
変更	願書再提出	令和7年3月10日（月）	午前9時 ～ 正午
学力検査及び面談		令和7年3月11日（火）	集合 午前8時30分
面接及び実技検査等		令和7年3月11日（火）以後、各都立高校が定める日	
合格者の発表		令和7年3月14日（金） 午前8時30分（合否照会サイト上）午前9時30分（校内掲示）	
合格者の 入学手続		令和7年3月14日（金） 正午 ～ 午後3時 3月17日（月） 午前9時 ～ 正午	

(2) 応募資格

- ・第一次募集・分割前期募集の応募資格と同じ。

(3) 出願方法

- ・志願者は、1校に限り出願する。
- ・志望校に複数の学科、コース、科（分野）があり、募集がある場合は、第一次募集・分割前期募集と異なり、志望の順位を付けることができる（芸術に関する学科を除く）。
- ・面接実施校では自己PR書を提出する。

(4) 出願手続

- ・出願に要する書類は、第一次募集・分割前期募集と同じ。
- ・インターネット出願ではなく、高校へ出願書類を持参して出願手続を行う。
- ・入学願書提出後は、記載事項の変更を認めない。

(5) 志願の変更

① 分割後期募集・全日制第二次募集における志願変更

- ・入学願書提出後、1回に限り変更を行うことができる。
- ・全日制から定時制単位制への変更はできない。その逆は可能。

② 定時制第二次募集における志願変更

- ・入学願書提出後、1回に限り変更を行うことができる。

③ 志願変更の手続

- ・志願変更の手続は、第一次募集・分割前期募集を準用する。

(6) 学力検査等の実施

- 分割後期募集・全日制第二次募集は、国語、数学及び外国語（英語）の3教科とする。なお、チャレンジスクール、エンカレッジスクールにおいては、学力検査を実施しない。個人面接及び小論文または作文を実施する。
- 定時制二次募集は、国語、数学、外国語(英語)、社会及び理科の5教科のうち、3教科を下らない範囲で各都立高校が定める。また、面接を実施する。
- その他の検査の実施内容は、各都立高校が定める。
- 各教科の満点は100点とする。傾斜配点を行う都立高校もある。
- 検査教科等のうち、1教科（面接、実技検査等を含む）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなされる。ただし正当な事由により、一部受検できなかった者は受検したものとみなされることもある。
- 面接、実技検査等を行うコース及び科（分野）を第2志望以下の志望順位とした者については当該のコース及び科（分野）において実施する面接、実技検査等を課す。

(7) 選考

- 学力検査の得点と調査書点の比率は、全日制は6：4とし、定時制は6：4又は5：5のどちらかとする。

(8) 合格者の発表

- 合否照会サイト上での個別の合格発表と、校内掲示を行う。

(9) 第三次募集・第四次募集の実施

- 分割後期募集・全日制第二次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない都立高校（島しょの都立高校を除く）は、第三次募集を行う。
- 第二次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない定時制の都立高校（島しょの都立高校を除く）は、第三次募集を行う。
- 第三次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない定時制の都立高校（島しょの都立高校を除く）は、第四次募集を行う。

都立産業技術高等専門学校、国際高等学校国際バカロレアコース、定時制課程単位制通信制課程及び海外帰国生徒等については、以下の流れとは別に定められているので、詳しくは自分で調べるか学年の先生に問い合わせましょう。

2 私立高校の入試について

私立高校の入試には、都立高校と同じように、推薦入試と一般入試があります。推薦入試は都内私立高校の約9割で実施しています。私立高校の入試のしくみは、それぞれの高校により異なります。説明会に参加し、情報を得ることが大切です。

1 入試制度(東京都)

名称	入試形態	選抜方法
推薦入試 1月22日頃～	推薦	面接・作文・適性検査等
	自己推薦	面接・適性検査等
一般入試 2月10日～	第一志望優遇	学力検査・面接等
	併願優遇	学力検査・面接等
	フリー受験	学力検査・面接等

※各私立高校によって入試日程は異なる。詳しくは各私立高校の入試要項で確認すること。

2 応募資格

- ・高校が示す基準（出願基準、選考基準）に達していること。基準は主に評価・評定等で示される。
(例)『3学年後期中間の成績が9科30以上、または5科18以上で、欠席日数が3学年で5日以内』
このほか、『英検3級を取得していれば、評価・評定の1点として扱う』『生徒会長を務めていたら2点』『ボランティア活動を継続してやっていたら1点』など、学校内外の活動や実績を評価する学校もある。
- ・細かい基準については説明会等で説明があるので、事前に学校説明会に参加する。

3 推薦入試

- ・推薦入試は、
 - ①その高校が第一志望である
 - ②在籍している中学校の校長先生の推薦・承認がある(自己推薦等はこの限りではない)
 - ③合格したら必ず入学する

ことを条件に、面接等によって選抜試験を行う制度である。

- ・推薦入試を受ける人は原則として他校を受験することはできない。また、全ての高校が推薦入試を行っているわけではない。
- ・学力を見るため推薦入試で適性検査を導入する高校もある。

(1) 推薦基準の例

- ・各種検定（英検、漢検、数検等）、ボランティア活動や生徒会活動の実績なども重視される傾向にある。
- ・推薦入試については、受験者全員が合格するわけではなく、不合格となる場合もある。

【私立高校 推薦基準の例】（学校によって基準が異なるので必ず高校見学や説明会に参加しましょう）

校名	推薦基準（成績等）	選抜方法
A高校	欠席日数、各学年(中学校3年は2学期まで)5日以内 遅刻・早退各学年(中学校3年は2学期まで)各5日以内 9教科 素点合計39以上	適性検査（英語・国語・数学） 面接
B高校	・健康で、生活態度が良好な者 ・5教科20以上、または、9教科34以上 （ただし、全教科に1、2がないこと） ・第3学年での欠席日数が原則として10日以内であること	作文・グループ面接
C高校	3教科12以上5教科20以上9教科35以上	適性検査 [英語・国語] または [英語・数学] のどちらかを選択 個人面接 調査書・推薦書
D高校	5教科評定合計20 全科目の評定に1及び2がないこと。 出席状況が良好なこと	書類審査（調査書・推薦書）・適性検査（英数国 各50分・リスニング10分）・面接
E高校	9教科単純合計が28以上であり、その教科評定の中に2以下がないこと	書類審査 適性検査（国語、数学、英語、各40分） 個人面接（15分）

(2) 入試相談

東京都では、12月15日（日）以降に、私立高校と中学校との間で、受験生の推薦入試や一般入試の併願優遇などについて相談する。相談において、推薦や併願優遇の基準に合っているかが確認され、受験資格が与えられる。

名称	入試形態
推薦入試 1月22日頃～	推薦 ★
	自己推薦
一般入試 2月10日～	第一志望優遇 ★
	併願優遇 ★
	フリー受験

★の受験形態で受験を希望する場合は、入試相談で中学校の先生と高校の先生が相談する必要があります。

よって★の形態での入試を希望する場合には、第二回三者面談には受験校を決定しなければなりません。

*入試相談は、上記のとおり高校と中学校が行うもので、生徒や保護者が高校と直接やり取りするものではありません。

4 一般入試

(1) 併願優遇制度

- 他校が第一志望ではあるが、その志望校が不合格になった場合は必ず入学することを条件に、入試得点に加点するなどの優遇制度。
- 第一志望校を公立高校に限定する場合や私立高校も認める場合など、高校によって異なる。
- 高校側が併願優遇を受け入れる条件として、評価・評定の基準がある。
- 最終的には他校に手続きするケースが多いことから、推薦入試に比べて基準を高めに設定している。
- この制度は受験生の合格を確約するものではなく、当日の得点や面接での評価で不合格になる場合もある。
- この制度を利用した場合、志望校が不合格になったら必ず入学しなければならない。
- 入学金などの納付を、都立高校第一次募集、分割前期募集の結果発表日当日や翌日まで待ってくれるなどの延納制度もある。詳細については、それぞれの私立高校の入試要項を必ず確認する。

【併願優遇制度の基準（成績等）の例】

校名	推薦基準（成績等）	選抜方法
F高校	素点合計41以上（5段階9教科） 欠席日数が各学年5日以内、遅刻・早退が各学年各5日以内	筆記試験（英語・国語・数学） 面接
G高校	ｽｰﾊﾟｰｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ 3教科15以上、5教科23以上 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽA 3教科13以上、5教科21以上、9教科36以上	「英・国」または「英・数」を 選択個人面接
H高校	5教科23 ①全科目の評定に1及び2がないこと ②出席状況が良好なこと 併願優遇入試では、特進・総合進学コースの募集は行いません	書類審査（調査書）・筆記試験 （英数国 各50分・リスニング 10分）・面接

(2) 併願優遇制度を利用しない受験（フリー受験）

- もともと併願優遇などの制度がなく、入試結果などの成績のみで合格者を選抜している高校もある。
- 併願優遇制度をもっている高校では、フリー受験のみの倍率はかなり高くなる傾向にある。理由は、併願優遇で合格した生徒が、一般入試の定員のほとんどを占めてしまう可能性があるからである。

(3) 第一志望優遇制度

- 推薦基準に達しないが、その私立高校が第一志望である場合、合格したら必ず入学することを条件に学力検査の入試得点に加点する制度。
- 内申等の基準があるほか、入試得点で1教科でも極端に点数が低い場合は、不合格になるなどの条件を設定している場合もある。
- 全ての私立高校で行われているわけではない。

5 学校説明会など

- 推薦や併願優遇制度の情報は、学校説明会や高校での個別の面談などで発表される。
- 個別相談を「面接」と同じ意味合いをもたせている学校もある。受験生にとっては学校を見る場だが、高校にとっては受験生を見る場でもあると言えるので、服装、身だしなみ、言葉遣いなど受験生にふさわしい、品格ある態度で臨む。

メモ欄

3 今後の流れ

1 受験校や受験パターンが決まるまでの流れ

- 10月30日(水) 第3回 進路希望調査配布 11月8日(火) 締め切り
 - ・前期の成績・到達度テスト・外部模試の結果などを参考に、志望校を記入してください。
 - ・第一志望校や併願校、見学の有無、推薦入試・併願優遇制度の希望などを確認します。

- 11月14日(木)～11月15日(金) 二学期中間考査(7教科)
- 11月18日(月) 第3回到達度テスト

- 11月18日(月)～11月22日(金) 希望制 三者面談

- 12月2日(月)～12月6日(金) 第2回 三者面談
 - ・「第3回進路希望調査」をもとに、志望校の確認や手続等の打ち合わせを行います。
 - ・推薦、併願優遇制度を希望している生徒には、基準に達したかどうかを伝えます。

- 12月中旬 入試相談
 - ・中学校と私立高校の間で、推薦、併願優遇制度を希望する生徒について相談をします。この段階で受験校を必ず申し出てください。

- 1月20日頃 都内私立高校推薦入試

- 1月26日(日)、27日(月) 都立高校推薦入試

- 1月31日(金) 都立高校推薦入試発表

- 2月8日(土)頃 都内私立高校一般入試

- 2月21日(金) 都立高校一次/分割前期入試

- 3月3日(月) 都立高校一次/分割前期発表

- 3月11日(火) 都立高校二次/分割後期入試

- 3月14日(金) 都立高校二次/分割後期発表

2 今後配布される必要書類や入試への準備

●受験写真撮影（学校で撮影）

- ・入学願書等に使う証明写真の撮影をします。

●3年間の活動実績・取得資格等の記録

- ・この資料を基に、高校へ提出する調査書などを作成します。

●推薦依頼書・誓約書、併願優遇依頼書・誓約書

- ・推薦を希望する生徒は、「推薦依頼書・誓約書」や「併願優遇依頼書・誓約書」を、担任を通して学校長に提出します。

●都立願書、自己PRカード

- ・自己PRカードは、「本校の期待する生徒の姿」を参考に、生徒本人が作成します。手書きまたはパソコン上で作成します。

●調査書等作成依頼書

- ・私立高校は受験の種類によって出願書類が異なる場合がありますので、この依頼書と要項一式を担任に渡してください。この依頼書に記入された高校について、調査書、推薦書等の必要書類を作成します。